

会報

No. 16

昭和63年8月1日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL(075)771-0069

昭和六十三年 京都府図書館等連絡協議会定期総会開催

五月十八日、今年度の総会が京都府立図書館において開催されました。

四月の理事会で新会長に選出された橋本会長の挨拶と、来賓の武田京都府教委社会教育課長の「今後の京都府内の図書館の活躍に期待する」との祝辞のあと、高木京都府立総合資料館文献課長の議長のもとで協議が始まりました。

まず事務局より、六十二年度会務報告及び収支決算報告を、監事より会計監査報告をそれぞれ行い、採決の結果、提案どおり承認されました。

次に、研修研究事業として、研究グループの研究活動の推進、実務研修会及び日本図書館協会々員との交流会の実施、相互協力事業としては、「逐次刊行物所蔵目録(改訂版)」の刊行、また、広報事業としては、「会報」の発行など、各委員会の事業推進を中心とした六十三年度事業計画(案)も提案どおり可決されました。ついで、六十三年度予算(案)も一般会計、特別会計とも原案どおり認められました。

このあと、新役員の紹介と顧問の推挙について諮られ、承認されました。総会終了後、今年度の図書館等職員表彰が行われ、その功績が称

えられました。午後には、澤田前会長の退任記念講演会が行われ、全日程を終了しました。

会長挨拶(要旨)

図書館活動につきましては、情報化社会、生涯学習社会といわれる中で、図書館の占める機能がどういう働きをし、どういう役割を果たすべきか、また、住民のニーズにどう対応していくかについて、図書館に課せられた課題は大きいと思います。

本年二月、社会教育審議会の中間報告「新しい時代(生涯学習・高度情報化の時代)に向けての公共図書館の在り方について」、また、近く「提言」が予定されています。京都府社会教育委員会議における「生涯学習社会を展望する京都府の図書館のあり方」等をふまえて、地域住民のサービスを検討していかねばならないと思います。

当協議会においても、このような問題を研修していく場としての条件整備をしていきたいと考えております。各館におかれましても、今後とも一層のご指導、ご協力を賜ります

ようお願い申し上げます。
最後になりましたが、三期六年間本協議会の会長としてご尽力くださいました澤田前会長に厚くお礼申し上げます。

昭和六十三年代表彰者

- 澤田 種治(八幡市立八幡市民図書館)
- 城 洋子(精華町立図書館)
- 福富 規之(京都市醍醐図書館)
- 鈴木 好美(京都府立総合資料館)
- 高木多喜男(京都府立総合資料館)
- 岡田 友明(京都府立図書館)
- 守川 宣子(京都府立図書館)



記念講演会

八幡市民図書館

館長 澤田 種治

五月十八日、連絡協議会の本年度総会の後、澤田前会長の退任記念講演会がもたれました。(以下、要旨) テーマは「公共図書館 いま・明日」。京都府の公立図書館が六十一年度には全国水準を上回る実績(登録率全国六位、貸出冊数同十九位)を示すまで前進してきた。

文部省の社会教育審議会の中間報告や、京都府の社会教育委員会議の提言「生涯学習社会を展望する京都府の図書館のあり方」等により、これからの公立図書館は生涯学習社会への移行を基本とする教育の見直しの中で、ますます重要な機関として位置づけられるだろう。

こうした図書館をとりまく環境変化を契機に、住民の生活にとって欠かすことのできない施設としての新しい図書館づくりにむけて、我々はより一層の努力が必要である。

また、図書館資料についても、活字以外の様々な情報メディアについて、情報提供機関として勉強や導入の検討が必要になってきている。



図書館めぐり

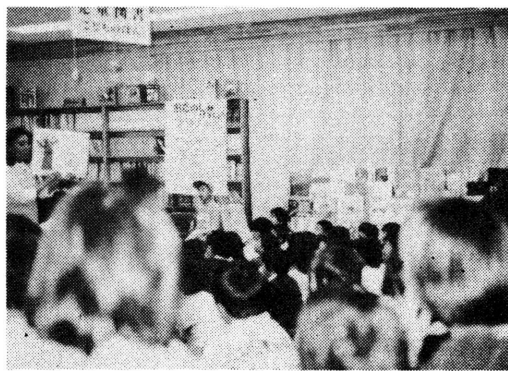
大山崎町中央公民館図書室

天王山と淀川がせまる風光明媚な大山崎町は、人口一六、五七三人、面積六・二〇平方キロメートルの歴史ある町です。町の中心に位置する中央公民館の別館(一階)に図書室が移転して五年になります。フロアーは一般書・児童書・参考書の三つのコーナーからなり、午後の室内はお年寄りから幼児まで各年代の利用者であふれ、なごやかな交流の場にもなります。

現在蔵書数二〇、五九〇冊(児童書七、四九〇)六二年度の利用者は八、三五六人でした。資料の質や量の限界は、府立図書館や他館から貸出しを受けて利用者の希望にそう努力をし、予約サービスも定着してきました。

地域文庫と共催で開催する年一度の「お楽しみ劇場(おはなし・人形劇・紙芝居等)」は毎回一〇〇人をごす親子づれが心待ちにする行事です。子どもたちが言葉を通してイメージを広げ、創造・空想の世界で心遊ばすことが本を読む楽しさに結びつければと、毎月一回「おはなし会」を開いています。小さな町の小さな図

書室ですが、地域住民の暮しに役立ち必要とされる存在となるよう努力しています。



京都市伏見中央図書館

市南部の中核図書館として昨夏、伏見区今町にオープンし、五月末で開館九か月を迎えました。利用状況は、貸出し冊数が三十三万冊、一日平均貸出し冊数が千四百冊。利用者の半数近くを本好きない伏見の幼児・児童が占めています。利用登録者数が、二万八百人で、このうち九十三%が伏見区民。地元の板橋学区が最も多く一五%、次いで南浜、桃山、藤ノ森各学区の順となり、貸出し冊数は約三十三万

冊で、五万冊の蔵書が六・六回利用されました。

館内には、昨年度の伏見区内小学校に引き続き、伏見区内五つの市立幼稚園児の絵を展示した「図書館えのひろば」を今年四月から開設しました。想像力豊かな、幼児らしい作品ばかりで、市民に好評を得ています。

夏休みが、好奇心の強い子どもの能力を伸ばす絶好の機会になるよう保護者自身が、子どもの発達段階に合った適切な本を図書館の本のなかから見つけられると、利用をお勧めしております。



第一回理事会報告

今年度最初の理事会が四月二十一日、府立図書館で新しく選出された理事によって開催されました。

六十二年度会務報告・決算報告、六十三年度事業計画(案)・予算(案)、六十三年度定期総会について、六十三年度表彰職員について、それぞれ協議の結果、提案どおり承認され、総会に諮られることになりました。

また、今年度の役員選出では互選の結果、新会長に橋本實氏、副会長に松井寛治氏が選出されました。

今年度の役員と表彰職員は別掲のとおりです。

今年度は定期総会のあとに、澤田前会長の退会記念講演を実施することになりました。

館長の異動

舞鶴市立東図書館	新	山本	久衛
丹後町中央公民館	旧	友繁	陽吉
	新	花光	勤
京都市中央図書館	旧	増田	彌一
	新	松岡	弘
京都市山科図書館	旧	大谷	昇
	新	片山	善夫
京都市西京図書館	旧	伊藤	修
	新	井上	嘉久
	旧	大山	輝美

63年度役員等の紹介

- 会長 橋本 實 (福知山市立図書館)
- 副会長 松井 寛治 (精華町立図書館)
- 理事 田口 清 (久御山町立図書館)
- 目釜 尚民 (長岡京市立図書館)
- 山内 昌樹 (美山町中央公民館)
- 森 宇一 (園部町立園部図書館)
- 関 武雄 (宮津市立図書館)
- 下戸 明夫 (峰山町立図書館)
- 小山 雄一 (京都府立図書館)
- 田中 重夫 (京都市右京図書館)
- 種治 (京都市立八幡市民図書館)
- 秦 正音 (八木町社会教育室)
- 浜辺 一彦 (京都府立図書館)
- 行待 史朗 (京都府立総合資料館)
- 松岡 弘 (京都市中央図書館)
- 目釜 尚民 (京都市立八幡市民図書館)
- 小山 雄一 (京都市立八幡市民図書館)
- 田中 重夫 (京都市立八幡市民図書館)
- 山崎 隆男 (京都市立八幡市民図書館)
- 水江 洋一 (京都市立八幡市民図書館)
- 井田 茂子 (京都市立八幡市民図書館)

ニュース・News

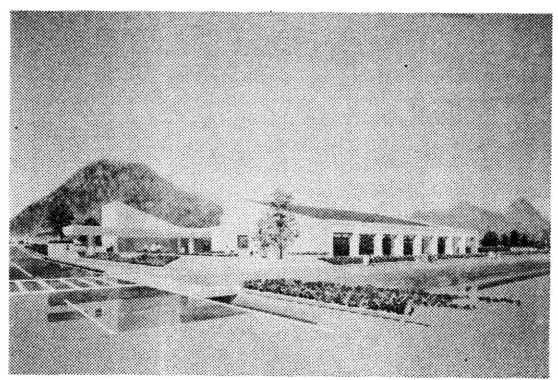
緑陰読書もできる 舞鶴市立東図書館建設

静かな緑に恵まれた公園に隣接して、新しい図書館を建設しようとして、現在準備を進めております舞鶴市立東図書館は、市民の生涯にわたる学習の場として、また親しみやすく、利用しやすい開かれた図書館を目指しております。昭和六十四年度に開館予定です。図書館は、舞鶴公会堂を取り壊し、跡地に鉄筋コンクリート造平屋建て約九百平方メートルの東図書館を改築するも

ので、野外には緑陰コーナーを設けております。

緑陰コーナーは、この計画の中の一つのアイデアとして生まれたもので、公園の緑だけでなく、新館の東側にも庭を造成し、ここに植樹をして、館内は勿論、野外においても樹陰を利用して、くつろいだ雰囲気の中で、読書をしたり又休憩が出来るようなコーナー(十名程度)を計画しております。

緑陰コーナーは、あくまで図書館の館内の一部でありますので、館内からでない出入りが出来ないよう検討しております。



専門委員会ニュース

相互協力委員会

相互協力委員会は、63～64年度、以下のメンバーにて任務を遂行させていただきます。

委員長 小山雄一、事務局長 川上元（以上、府立図書）。

委員 大槻政美（田辺）、岡田和子（府立総合）、五十嵐幸夫（京都市中央）、栗林さよ子（亀岡）、仁科晴夫（八幡）、中谷昌子（木津）、堀内佳子（向日）。〔本年度は亀岡より委員参加をいただき委員会の幅が広がりました。〕

尚、本年度の雑誌、新聞総合目録事業に、府立図書館の逐次刊行物担当者2名が参加します。

さて、本年度第1回（通算第22回）委員会は、7月19日に開催しましたが、「雑誌、新聞類総合目録」の編集刊行を中心とする今年度事業について協議を行いました。

総合目録については、5月末を期限として第1次の調査票の回収を行いました。未回収館をはじめ、既回収館の記入内容についての再調査を進行させています。

加盟各館の皆様には調査へのご協力について本紙上をお借りしまして厚く御礼申し上げますとともに、今後の作業の中で出てくる再調査へのご協力を切にお願い致します。

本年度は上記事業に終始しそうな気配ですが、可能な限り相互協力についての学習会を委員で行い、それを協議会全体に還元していけるものにできないものかと、抱負しています。

- 全国図書館大会
東京都多摩市
十月二十六日～二十八日
福島県
福島県
十月六日～七日
- 奉仕部門全国集会
和歌山県
十月二十日～二十一日
- 児童奉仕部門全国集会
石川県
九月二十九日～三十日
- 参考事務全国集会
千葉県
十一月八日～九日

全国・近畿地区 研究会日程

研修研究委員会

63～64年度研修研究委員会は、18館から委員の選出をうけ、7月7日に府立図書館において、第1回委員会を以下の日程で開催しました。

1. 自己紹介とそれぞれの課題
2. これまでの研修・研究の経過
3. 委員会予算
4. 京庫連との共催事業について
これまで通り共催する。
5. 63年度の研修研究計画について

(1) 北部地区

亀岡市より北の地域で研修グループをつくり、研修計画の策定をおこなう。

委員長：峰山町立図書館

下戸明夫

(2) 南部地区

亀岡市以南の地域で前年度より引き続き3つの研究グループを組織し、各委員は一つのグループに属し、委員の中からグループリーダーを選出し、研究活動をおこなう。

- ① 児童奉仕研究グループ
リーダー：亀岡市立図書館 内藤千鶴
- ② 障害者奉仕研究グループ
リーダー：八幡市民図書館 尾上日出丸
- ③ 参考事務研究グループ
リーダー：京都市北図書館 三輪宗寛

3グループのメンバーについては、京図連加盟館に別途呼びかけて参加を募る。

6. 委員会のスケジュール

今回は11月以降に開催する。

広報委員会だより

夏休みに入り、各図書館では子供たちの利用で賑わっています。このたび、広報委員会のメンバーが交代しました。今迄二年間、広報を担当してこられた方々のご努力に、感謝いたします。

これから担当するメンバーも、皆さん方のご協力を得て、その責を果して行きたいと考えています。図書館に関するニュースや行事等の情報を、連絡協力員まで送って下さい。担当者は次のとおりです。

（広報委員会） 田中重夫（京都市右京区）・鍋谷英明（京都市醍醐区）・笹田保治（宇治市中央区）・西垣英子（京都府立図）

（連絡協力員） 京都市内（ブロック）
鍋谷英明（兼務）・乙訓
大喜多千景（長岡京市立図）・山城
笹田保治（兼務）・北桑田、南

丹、中丹―栗林さよ子（亀岡市立図）・中丹、与謝、丹後―中西俊夫（宮津市立図）

○ 近公図奉仕部門研究会
和歌山県
十月二十日～二十一日

○ 近公図整理部門研究会
奈良県
期日未定

○ 近公図参考事務研究会
京都府
期日未定